

海外安全対策情報（平成 26 年 1 月～3 月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシでは反体制派による集会やデモが定期的に行われており、ベラルーシ当局との衝突や参加者が拘束されるケースも発生しています。不測の事態を避けるため、集会やデモに興味本位で参加したり、近づいたりすることは控えてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2013 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までのベラルーシにおける犯罪総数は、96,676 件で、昨年同時期と比較し 5.3%減少していますが、犯罪別で見ると増加しているものもありますので、引き続き注意が必要です。また、未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので、このような事件に巻き込まれないよう注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

(ア) 窃盗	46,356 件 (昨年比 17.8%減)
(うち住宅対象侵入窃盗)	11,482 件 (同 10.4%減)
(イ) 公然窃盗	2,459 件 (同 3.9%増)
(ウ) 恐喝	97 件 (同 14.1%増)
(エ) 詐欺	3,364 件 (同 28.5%増)
(オ) フーリガン犯罪	2,153 件 (同 23.2%増)
(カ) 殺人及び殺人未遂	410 件 (同 6.5%増)
(キ) 重傷傷害	1,005 件 (同 4.7%減)
(ク) 強盗	311 件 (同 7.6%増)
(ケ) 強姦及び強姦未遂	140 件 (同 45.8%増)

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2014 年 1 月～3 月における邦人以外の主な被害事案は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 1 月 5 日夕、当地目抜き通りである独立大通り 168 番地付近で、無職男性が子供から 130,000 ベラルーシ・ルーブル（相当米貨約 13 ドル）及び鍵を強奪した。

イ 1 月 9 日早朝、ザスラフスカヤ通り 17 番地（ミンスク市中心地より北西 2.5 km）において、前科のある無職男性がカーナビ及び車内カメラ、2,500,000 ベラルーシ・ルーブル相当（米貨約 255 ドル）を自動車内から盗んだ。

ウ 1 月 13 日、ゴメリ市（ミンスク市より南東 320 km）において、泥酔状態にあった父親が自宅で二歳の子供の体を数カ所にわたり刺傷し、殺害した。

- エ 1月15日正午、ヴィテプスク市（ミンスク市より北東290km）において、男性2人が自宅バルコニーから路面電車に向けエアガンを発砲した。路面電車乗客に負傷者はいなかったが、歩行中の女性が軽傷を負った。
- オ 1月19日、ヴィテプスク州ウシャチ（ミンスク市より北東195km）にある食料品店で女性店員の遺体が発見された。店内からは売上金2,500,000ベラルーシ・ルーブル（相当米貨約255ドル）が盗まれていた。
- カ 1月19日夜、プレスト市（ミンスク市より南西355km）にある食料品店において現役の軍人がナイフで店員を切りつけ、食料品を強奪し、姿を消した。
- キ 当地目抜き通りである勝利者大通り17番地にある食料品店の物置において火事が発生した。火事の原因については現時点では不明。
- ク 2月4日深夜、ミンスク市バグダノーヴィチ通り147番地（ミンスク中心地より北東3.5km）付近の横断歩道において、青信号で通行中の女性が自動車ではねられ死亡した。その自動車の運転手はその場から逃走した。
- ケ ミンスク市在住の男性が、インターネットにて自身の母親の所有するアパートの居住希望者を募り、そのアパートを見せた後、前金を受領する形で、一度に数人から現金をだまし取っていた。被害者は40名近くに上った。
- コ 2月18日朝、ミンスク州スモレビチスキー地区の住宅地ジリョーニー・ポールにおいて、目出し帽を被った男性が、ベラルーシ銀行に入った。小銃の発砲により職員用執務室の錠を開け、会計員に小銃を向け、有り金全てを渡すよう要求し、10,000,000ベラルーシ・ルーブル（相当米貨約1,020ドル）以上を奪い、逃走した。
- サ 2月14日夜、ゴメリ州レチツァ市（ミンスク市より南305km）近郊の森林地帯において、男性2名が口論の末女性を撲殺し、貯水池に死体を遺棄した。
- シ 2月19日、ミンスク市において、禁止されている向精神剤の販売に直接関与した男性及び女性が逮捕された。
- ス 2月グロドノ州リートスキー地区（ミンスク市より西126km）の川辺において、27キロのトリニトロトルエン（爆薬）が隠された小屋が見つかった。爆発性のある物質については金属製の樽の中に隠され、地中に埋められていた。
- セ 2月ミンスク市プーシュキン大通り（ミンスク中心地より西6km）及びオドエフスカヴァ通り（ミンスク中心地より西6km）において、男性が十数台の自動車の鍵を壊すもしくは窓を割り侵入し、放火の上、その場を立ち去った。被害総額1億8千8百万ベラルーシ・ルーブル（相当米貨約19,180ドル）に及んだ。
- ソ 2月26日正午、男性がショートメールにて地下鉄において爆発物を作動させると知らせたことにより、ミンスク市の地下鉄が3時間停止した。
- タ 3月1日昼、ミンスク市内の倉庫においてベラルーシ人女性が口論中にトルコ国籍の男性の背中をナイフで刺し、その男性は搬送先の病院で死亡した。
- チ 3月4日、ミンスク州にある農場の経営者が13キロの麻薬（商品価格約6千億ペラ

- ルーシ・ルーブル（相当米貨 6122 千万ドル））所持の罪で逮捕された。また、この経営者のアパートより 30 万以上の麻薬（闇市場で 30 億ベラルーシ・ルーブル（相当米貨 306 万ドル）以上）等、倉庫より 60 k g の麻薬製造原材料等が押収された。
- ツ 3 月 10 日昼、勝利者大通り 93 番地付近で、男性が財布、携帯電話MP3 プレーヤー書類の入った鞆を女性から強奪した。
- テ 3 月 12 日深夜、当地目抜き通りである独立大通り 64 番地より警報装置の装備されていない自動車（トヨタ・カムリ）が盗まれた。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

本件事案は報告されていません。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述事案は全体の一部の情報です。定期的に報道等を確認し、自身の安全確保に努めてください。